

さの

じゅうさく

# 佐野 重作

嘉永5年（1852）～明治44年（1911）

渥美郡飯村（現 市内飯村町）出身



農家の二男として生まれた佐野重作は、芳賀次郎吉に弟子入りして毛筆製造を始めた。修行を終えて独立し、従来製の法に独自の工夫を加えて売り出すと、書き味の良さから好評を得て、画家の渡辺小華にも愛用されるようになった。さらに東京にも販路を広げると、安価で品質良好な豊橋筆は好評を博し、広く取引されるようになった。現在、豊橋筆は伝統工芸品に認定され、豊橋市の名産品の一つになった。

重作の功績をたたえ、昭和34年（1959）、龍拈寺に記念碑が建てられた。

伝統工芸品  
豊橋筆の創始者